

不登校生徒に対する教育支援事業「むさしのクレスコーレ」について

不登校状態にある生徒には、家庭を含めた長期的かつ継続的な相談支援が必要である。学校で生徒の状態を把握できる義務教育の時点において、教育委員会・学校・民間事業者が連携して、高等学校等への進学後も見据えた多面的な相談支援を行う。

1 本事業の対象

不登校状態にある中学生

※事業名「クレスコーレ」は、ラテン語で「成長する」を意味する「クレスコ」とギリシャ語で「学び、遊び、余暇」を意味し、スクールの語源である「スコール」を合わせた造語

2 運営事業者

特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク

3 事業場所

御殿山1丁目6番8号 ムサシヤビル1階

※上記場所で運営されている武蔵野市若者サポート事業「みらいる」のスペースを活用して事業を行う。

4 支援内容

- (1) 個別相談（保護者含む。必要に応じて家庭や学校にも訪問）
- (2) 居場所提供（おしゃべり、ものづくり、スタッフや仲間との散歩など）
- (3) 学習支援（スタッフが支援しながら、個々のペースで進める。）
- (4) 体験活動支援（仲間づくりやキャリア教育を通じて社会性を培う支援）

※学校やスクールソーシャルワーカーと連携するとともに、運営事業者のノウハウを活用して、社会的自立に向けた多角的な支援を行う。

5 運営体制

当面はスタッフ2名を配置（勤務時間は午前8時30分から午後5時まで）

6 開設日・時間

週5日（火曜日から土曜日まで）午前9時から午後2時まで
令和2年7月1日から開設

※クレスコーレの開設時間は午後2時までであるが、午後2時以降はスタッフ同行のもと同法人の運営する若者サポート事業などとの連携や家庭訪問などの相談支援を行う。

担当課 教育部教育支援課